

平成22年度プロジェクト実施報告書

「イスラーム美術・建築作品の画像・情報アーカイヴ」

(申請者：梶屋友子)

(1) プロジェクト全体計画 (概要・目的・意義など)

世界の様々なコレクションに収められているイスラーム美術作品やイスラーム地域各地に残されたイスラーム時代の建築作品の調査研究を行って収集した画像資料と作品・建築に関する情報や既に蓄積された画像資料を整理・分類・分析することによって、アジアにおいて文化的・国家的自己同一性の追求と形成がいかに美術に即していたかについて、イスラーム地域の事例を供するものである。

(2) 今年度の進捗状況

インド・イスラーム史跡写真資料の保存と整理を行うとともに、東大インド・イスラーム史跡調査団が使用した古資料を整理・複製・製本した。オランダ・レーワルデンの陶器博物館およびデンマーク・コペンハーゲンのダヴィッド・コレクション所蔵のペルシア・タイルの調査を行い、データを蓄積した。

(3) 公開済みの (または予定の) 具体的な成果物

インド・イスラーム史跡写真については、センターのホームページで公開中 (<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~islamarc/index.html>)。イスラーム・タイルについては、蓄積データ数が少なく、美術館および美術財団所蔵品の画像については著作権の問題があるため、公開形態も含めて検討中である。2011年3月に米国ホノルルで行われたイスラーム・タイルのシンポジウムにて申請者が関連発表を行った。